

ミシェル・ルピサン
JAPN 402
5 W1H 詩

雨の多い春に
幼い彼と私は
身近な場所で
偶然に再び出会って
いつの間にか好きになった。
だって、運命のようだったから。

涼しい夏に
ずっと彼に憧れていた私は
こっそり家を出て
星空の下で
彼に会って告白した。
だって、この気持ちは初めてだったから。

あつという間に来た秋
焦って愚かに恋した私たちは
つらい日差しの中で
ぎゅっと抱きしめながら
苦しくバイバイって言った。
だって、私が旅に出なきゃ日が来ちゃったから。

さびしい冬
幸せが奪われた私は
孤独な部屋で
後悔だらけで
彼への手紙を捨ててしまった。
だって、これからはもう忘れようって決めたから。